

## 環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 18

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再使用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

## フジシールグループ 水性印刷への取り組み

フジシールグループでは、気候変動・海洋プラスチック問題（生物多様性の保護）・資源枯渇を重要な環境課題として位置付けています。人と環境にやさしい価値を届けるために、製品・サービスを通じて環境に貢献し、製造時における負荷低減に向けても取り組んでいます。

一般的にシュリンクラベルでは、表現性や耐内容物適正などのインキ機能性の観点から、有機溶剤を希釈剤とする油性インキを用いて印刷されてきました。フジシールグループでは、大気汚染や気候変動への影響をより低減するため、水性インキ使用を念頭においた印刷プロセス導入を実施しています。この取り組みにより、浮遊粒子状物質及び光化学オキシダントの原因の一つである揮発性有機化合物（VOC）の排出を大幅に抑制可能なことに加え、ラベルとしてのCO<sub>2</sub>削減効果\*が見込め、サプライチェーン全体を通じて、温室効果ガス（GHG）の排出量のScope3の削減に貢献することが可能です。

\*油性グラビア印刷に比べ、ラベル1枚あたりのCO<sub>2</sub>量を約30%削減（一般的な多色デザイン時）

### ■ 水性印刷の採用事例

2022年の7月に、サントリー食品インターナショナル株式会社にて「サントリー烏龍茶OTPP(600ml)」に、水性フレキシソ印刷にて製造したシュリンクフィルムのご採用をいただきました。従来の油性グラビア印刷と比較すると、印刷プロセスにおけるCO<sub>2</sub>排出量を約55%（年間総排出量160.9t）削減\*できます。

\*一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）の算定条件に基づき試算

セキ株式会社と共同開発し、検証を重ねた結果、印刷表現含めたインキの機能性が従来品と変わらない水準となり、水性フレキシソ印刷を採用いただきました。

〔商品/パッケージ〕

